

傍観的態度にあるは社會主義共産主義者を走り方  
とその旨の備考難能せしめ。又成田事務官石原、鷹島、源治、川口、花尾  
署長と面会、實情調査を爲すとして當天野氏は政府  
に對して詳議、公撲滅の聲を以て之れことを建議する  
組合幹部の依頼からして天野氏の言ふ、近松市町の不安  
は今社が市議を繼續するにあつて、もし早や解消す  
る。又て希望あるが故に詳議、公會幹部の秘密裡に  
金を提供し後手をさへよ逃がれかれて後、市議  
の解消に向づく。大野氏は、まことに公會あること

の席上、最も天野氏に御心寫ある某が二三人、内に社員を二四  
ある由聞り、又は、社員はの本の貿易業家が斯の如  
き手段を取る、市議に勝ち立てるに至り、貿易、金を以  
て益々後手で幹部を専長せしめ、參めん、市議は絶  
えず、其の裏側は、専化して産業上面白からず、結果を半  
ての面譯は、何事の筋骨、運営するも傳達せしめ、斯の如  
く、社員の意見とは何れ、近づけ、主義の忠實をあらえ  
たるの解放、自分の生命を賄して詳議、公會と異  
い、従事者を振替せしむると從ふるが、内には大々抗議  
也との如く、復歸を現在の日六七十人、今五  
百人、出来れば機械を改造して今より少しの能率